

平成 28 年度 新潟大学歯学部 主催
にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 新潟県歯科医師会 共催
嚥下内視鏡講習会

日 時 平成 29 年 3 月 26 日 (日) 午前 10 時から午後 5 時

場 所 新潟大学歯学部 C310 大会議室 B303 歯科行動科学相互実習室

参加者 (カッコ内はインストラクタ)

研修参加

A 班 佐藤 昭弘 先生, 生田 伸之 先生, 堀 香里先生, 星野 朝子先生 (辻村, 船山, 吉原)

B 班 竹山 旭 先生, 岩坪 敏江 先生, 寺尾 浩子 先生, 蒲澤 崇 先生 (辻, 古志, 竹内)

C 班 新井 是英 先生, 田中 佑人 先生, 碓井 由起子 先生, 大野 篤 先生 (渡邊, 前川, 保田)

D 班 村田 雄子 先生, 夏目 明恒 先生, 山本 雅春 先生, 中林 弘 先生 (白石, 林, 佐藤)

E 班 宮 福子 先生, 佐藤 健治 先生, 五十嵐 源太郎 先生, 楯 泰昌 先生 (酒井, 鈴木, 笹)

見学

岩片 みえ子 様, 堂井 真理 様, 池浦 一樹 様

症例報告

中島 郁夫 先生, 尾崎 康子 先生

見学

新川 いくみ 先生, 水野 吉広 先生

進行・運営他

新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野:井上, 辻村, 真柄(チーフ),
伊藤, 白石, 渡邊, 辻, 船山, 酒井, 前川, 鈴木, 吉原, 砂田, 古志, 竹内, 笹, 竹石, 大口, 佐藤,
保田

林 宏和 先生

タイムスケジュール

10:00 - 10:05 スケジュール説明

10:05 - 11:05 講義

11:15 - 12:05 摂食嚥下機能評価デモ

12:05 - 12:55 休憩

12:55 - 13:10 PENTAX による機器説明および洗浄デモ

13:10 - 15:40 インストラクターデモおよび相互実習

15:40 - 16:00 アンケート

16:15 - 17:00 症例報告

概要

本講習会は、新潟県歯科医師会による摂食嚥下治療登録医等養成研修事業の支援を受け、地域開業医への摂食嚥下リハビリテーションの普及、及び、嚥下内視鏡検査の実際の活用例などを紹介する目的で開催された。新潟県歯科医師会からの推薦 10 名、一般申込み 10 名、受講者計 20 名、見学 3 名の参加者となった。内視鏡機材の提供は HOYA 株式会社 PENTAX Medical 社の協力を得て開催された。

午前中は新潟大学 井上 誠先生による講義が行われた。この講義では、日本における嚥下障害患者の社会的背景と要介護高齢者の関連について、臨床アプローチとして、唾液誤嚥と食物誤嚥へのアプローチ方法の違いや最新の知見について説明された。その中で、嚥下造影検査の特徴と比較しながら、嚥下内視鏡検査の有用性に触れた。嚥下障害に陥る可能性のある高齢者に対し、咀嚼、舌運動、口腔感覚などの口腔機能低下に対する早期発見、予防を目指したアプローチを歯科として取り組むことが大切であることが説明された。

次いで、相互実習室に移動し、A～G の 5 グループに分かれ、摂食嚥下機能 スクリーニング評価についてデモを行った。新潟大学 摂食嚥下機能回復部で実際に使用している摂食嚥下機能評価表（スクリーニング検査）を用いて、その評価の意味と実践についてデモを交えて説明された。

午後の実習開始前に、PENTAX から内視鏡機器の説明および洗浄方法についての説明が行われた、嚥下内視鏡相互実習では、4 名ないし 5 名を 1 班、計 5 班に分かれて、インストラクタの指示のもとで嚥下内視鏡の操作法から検査項目に至るまでの相互実習が行われた。基本的な操作方法の確認だけでなく、食形態・姿勢・飲み方を変えるなど、実際の検査・訓練場面を想定した実習となった。

相互実習後には、中島郁夫先生（新潟県見附市開業）、尾崎康子先生（新潟市東区開業）先生より症例報告が行われた。中島先生からは、医科先生から紹介を受けた下咽頭癌放射線治療術後患者に対する機能評価、内視鏡評価、および訓練についての提示があり、また、地域における摂食嚥下障害に対する多職種連携の中で歯科に対する強い期待があることが紹介された。尾崎先生からは、施設入所者に対する摂食嚥下リハビリテーションにおける多職種連携の中で、ミールラウンドへの参加、歯牙欠損患者に対する補綴的なアプローチを踏まえた嚥下内視鏡の活用例が紹介された。

最後に、アンケートを実施、集合写真を撮って終了となった。次年度以降もこの事業を継続すること、また、大学病院で研修を希望する先生への支援体制の説明を行い終了となった。

2017年3月23日実施 嚥下内視鏡講習会 アンケート

① 講習会の講義・実習の評価をお願いいたします。

当てはまる記号 a～e に○を付してください。理由があれば()に記載をお願いいたします。

1. 講義（内視鏡の適応と使用について）（井上 誠 先生）について

a.大変よかった 19 b.よかった 5 c.普通 0 d.やや悪かった 0 e.悪かった 0

- ・ 話し方がとても聞き取りやすく内容も理解しやすく良かった。
- ・ データ欲しいです。
- ・ わかりやすくてよかった。
- ・ いつも嚥下障害であろう患者さんに、より診査診断ができる可能性を頂きました。
- ・ Prof 井上に出会えて良かったです。やる気が出ました。
- ・ 20年後の歯科が良くなるように、その世代として頑張りたいです。
- ・ 現在の情勢をふまえ、VEの適応を説明いただけて、とてもわかりやすかったです。

2. 摂食嚥下機能評価デモについて

a.大変よかった 20 b.よかった 4 c.普通 0 d.やや悪かった 0 e.悪かった 0

- ・ 評価内容を一つ一つていねいに説明していただきわかりやすかった。
- ・ 難しかったです。
- ・ 詳しく説明してくれたので、良かったです。
- ・ 適切な（VE検査）に事前評価をとることはとても大切で良かったです。
- ・ 1つ1つの項目について、ていねいに説明していただいた。

3. VE 相互実習について

a.大変よかった 23 b.よかった 1 c.普通 0 d.やや悪かった 0 e.悪かった 0

- ・ じっくりと観れてよかった。
- ・ 勉強になりました。
- ・ 少し声が聞きとりづらかった。一つ一つの動作が何のためにやるのかを知りたかった。
- ・ 実習でしか、他の先生方のやり方をみることができないので。

4. 症例報告（尾崎 康子 先生・中島 郁夫 先生）について

a.大変よかった 16 b.よかった 6 c.普通 2 d.やや悪かった 0 e.悪かった 0

- ・ いい例になりました。
- ・ 身近な目標にしたいと思います。

② 先生方の臨床経験についてお伺いいたします。

当てはまる記号に○を付してください。

5. 摂食嚥下障害の臨床に関わっていますか。

a.ある 7

b.ない 16

a.ある の方は 6 へ b.ない の方は 14 へ

6. 2017年3月時点での、歯科医師の臨床経験年数と摂食嚥下障害の臨床経験年数を教えてください。

・歯科医師経験

a. 20年以上 4 b. 10年以上 1 c. 5年以上 0 d.2年以上 0 e.1年以上 0 f.1年未満 1 無回答 1

・嚥下障害経験

a. 10年以上 2 b. 5年以上 1 c. 3年以上 2 d.2年以上 0 e.1年以上 1 f.1年未満 0 無回答 1

7. どの程度の頻度で関わっていますか。

a.毎日 2 b.毎週 1 c.毎月 2 d.年に数回 1 e.これまでに数回 1

8. 2017年3月現在、何名（のべ数、月）の摂食嚥下障害患者さんを診ていますか。

・のべ数

a.100名以上 0 b.50名以上 1 c.30名以上 0 d.20名以上 2 e.10名以上 1 f.10名未満 2 無回答 1

・月別数

a.10名以上 0 b.5名程度 2 c.3名程度 1 d.1名程度 2 無回答 2

9. 紹介元を教えてください（複数選択可）。

a.大学医科 0 b.大学歯科 0 c.病院医科 0 d.病院歯科 0 e.開業医科 3 f.開業歯科 0 g.その他 3（施設 2名 ケアマネ 1名） 無回答 1

10. どのような患者さんを対象とされていますか。

a.外来 0 b.往診（病院・診療所） 0 c.往診（在宅） 2 d.往診（施設） 4 無回答 2

11. どのような疾患に関わっていますか（いましたか）。

a.発達障害・先天異常 2 b.脳血管疾患 6 c.神経疾患 2 d.頭頸部腫瘍 0 e.その他 0 無回答 1

12. どのような検査を行っていますか。

a.スクリーニング 6 b.嚥下内視鏡検査 0 c.嚥下造影検査 0 d.その他 0 無回答 0

13. どのような治療を含んでいますか。（複数選択可）

a.口腔ケア 6 b.間接訓練 5 c.直接訓練（食事指導含まず） 3 d.食事見守り・指導 2
e.その他 0（ ） 無回答 1

→次は質問 15 へお願いします。

（5.でb 摂食嚥下障害の臨床に関わっていないと答えた方のみ）

14. 今後摂食嚥下障害の臨床に関わる予定はありますか。もしくは関わりたいと思っておられますか。

a. ある 8 b.ない（意思はある） 4 c.ない（意思はない） 0 d.分からない 2 無回答 2

15. 多職種カンファレンスなどへの出席をされたことがありますか.

a. ある 11 b.ない 9 c.分からない 0 無回答 4

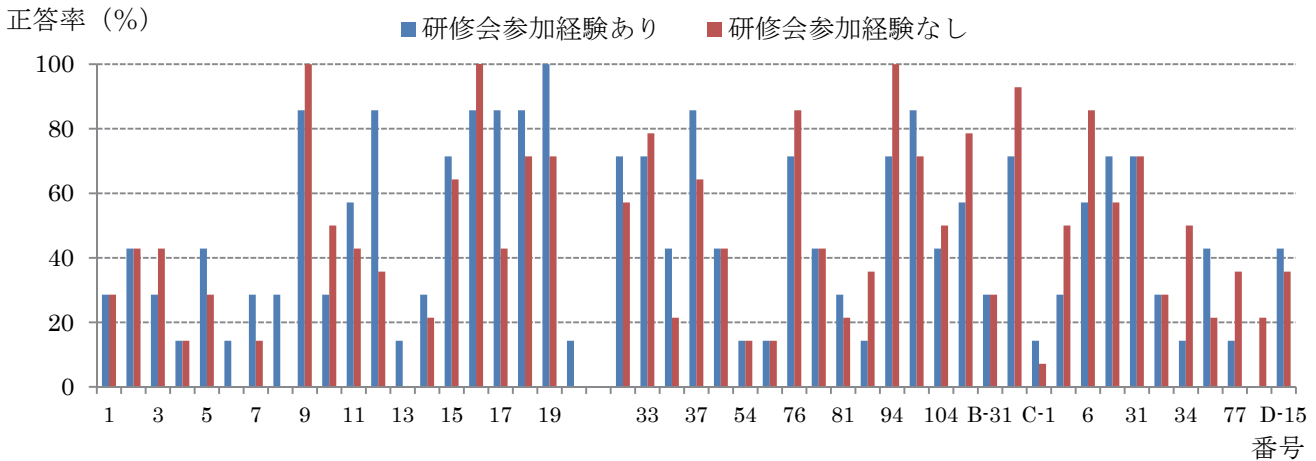
16. その他ご自由な意見ををお願いします.

- ・ 嚥下内視鏡の実習大変勉強になりました. 最後のテストではあらためて勉強しなければといましめられました.
- ・ 多種職にはいりたいと思います.
- ・ 大変貴重な体験でした.
- ・ 認知症の老健型施設併設病院に勤務しております. 研鑽をつんでから摂食嚥下支援をしていきたいと思っています.
- ・ 地域での歯科の役割を自覚し, 明日からも学んでいきたいと思う.
- ・ これからもよろしく願いいたします.
- ・ 周囲から先生のところは摂食嚥下を診てくれないのですか?と直接言われてはいないものの, 無言の圧力がかかっているように感じられるので, 今回の講習会は大変有意義でした.

③ 追加アンケート (国家試験および摂食嚥下リハの問題解答) の結果

研修会参加経験あり 先生方 平均点 22.0 ± 9.6 (最高点 41/48 点) (H 先生 38/48 点)

研修会参加経験なし 先生方 平均点 21.2 ± 3.5 (最高点 25/48 点)



Comments

<VE 研修会参加あり, 嚥下障害経験あり>

- ・ 勉強不足!
- ・ 国試での摂食嚥下の問題がおおくなった.

<VE 研修会参加あり, 嚥下障害経験なし>

- ・ 今の国試レベルはたかいですねー. 全くわかりませんが….
- ・ 大変難しく国家試験は合格しそうにありません. 今の学生さんは大変です.
- ・ 勉強します.
- ・ このようなセミナーを続けてください.

<VE 研修会参加なし，嚥下障害経験あり>

- ・ 勉強になりました。ありがとうございます。

<VE 研修会参加なし，嚥下障害経験なし>

- ・ 不勉強が身にしみました。
- ・ VE 数 病態把握の必要性を感じました。
- ・ 医局の先生方に感謝いたします。
- ・ とても難しく勉強不足を再確認しました。
- ・ ありがとうございました。今後ともぜひ続けて欲しいです。
- ・ 忘れていることが多すぎ、再度研修が必要。
- ・ 神経や筋の問題が難しかったです。
- ・ もっと勉強しないといけないと思いました。103 回の時よりも増えているなあと…
- ・ 早く歯科医になって良かった。
- ・ 本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。これが私の現段階での実力でございます。精進いたします。
- ・ 難しい。
- ・ 難しかったです。

研修会風景



